

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

地域奉仕・環境事業 通信

2023-24 年度 地域奉仕・環境事業主任 川口 恵



2023-2024 年度 事業主題

輝かそう、私たちの未来を Let 's shine our future

2024年06月01日

今年度もいよいよ6月となりました。西日本区の皆様、今年度も各クラブや各部署で活発な地域奉仕・環境事業活動をされ、多くの実施報告書をいただきましてありがとうございます。

また、多くの献金をいただきましてありがとうございます。

6月まで事業通信を作成してきて、「ワイズの皆様の活動で、私たちの未来は輝きそう」と思います。

6月1日号の地域奉仕・環境事業通信では以下について報告します。

1. 【各クラブの事業実施の報告】
2. 【広報関連】
3. 【2023-2024 年度 CS・FF 資金の使用実績 2024年5月25日時点(震災支援金含む)】
台湾区へ地震のお見舞金を送り、お礼状も届いています。
4. 【SDGs ユースアクション2024について】
5. 【TOF を利用したプロジェクトの実施状況について】
6. 【参考:事業通信の主な内容と掲載号】

1. 【各クラブの事業実施報告書より】

今回は2024年4月12日以降5月25日までに実施報告をいただいた分 合計10件の事業を紹介します。

- ①京都ウエルクラブ 遥学園 桜バザー支援(2024年4月12日)
- ②京都ウエルクラブ 動物愛護センター花壇整備(2024年4月28日)
- ③奈良クラブ WEEK 4 WASTE(2024年5月12日)
- ④大阪クラブ フレイル予防とクリーン活動(2024年3月20日)
- ⑤中西部 うなぎの森植樹祭(2024年5月12日)
- ⑥大阪なかのしまクラブ ミャンマー支援(2024年4月12日)
- ⑦神戸ポートクラブ あがれ希望の凧(2024年3月9日)
- ⑧神戸ポートクラブ DBC 輪島で炊き出し(2024年5月2日、3日)
- ⑨広島クラブ WEEK 4 WASTE(環境美化ウオーク)(2024年5月18日)
- ⑩熊本ジェーンズクラブ 留学生との交流・新年度茶話会(2024年5月10日)

①京都ウエルクラブ 遥学園 桜バザー支援(2024年4月12日)

実施場所: 児童養護施設 遥学園

遥学園は、キリスト教精神に基づき、児童一人ひとりが個人の尊重を保持し、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として自立できるように援助を行っておられる児童養護施設である。何らかの事情で、家

庭での養育が困難であったりする2歳から18歳までの子どもたちが生活している。入所児童は各施設合わせて200名を超える。

遙学園では、毎年春のこの季節に近隣住民の方々との交流を兼ねた桜バザーを開催されている。今年も、4月13日・14日(土・日)に開催された。京都ウェルクラブでは、遙学園の支援事業を、京都みやびクラブより引継ぎ、この桜バザーでおこなわれる野点用の和菓子を200個寄贈した。

今回は元みやびクラブのメンバー奥谷様のご厚意により、奥谷様が経営されている和菓子司井津屋から和菓子200個をご提供いただいた。ウェルクラブとしては、奥谷様並びに井津美屋に感謝状をおくり、謝意を表したいと考えている

②京都ウェルクラブ 動物愛護センター花壇整備(2024年4月28日)

2024年に入って初めての花壇整備を行った。天候にも恵まれ、大変気持ちよく作業を行うことができた。

今回の作業内容は、センター前の雑草引きである。4月ではあるが、ここ最近の温かさのせいで多くの雑草が茂っていた。また、花壇内の草花もこの冬を越してすっかり枯れているものも多くあったので、それらも片づけた。今後の計画としては、昨年の猛暑で枯れたところのある芝桜の修復と新しい花壇の制作を考えている。

最後に、動物愛護センター周辺の清掃活動を行って作業を終了した。



③奈良クラブ(WEEK 4 WASTE)(2024年5月1)

奈良クラブ有志8名(内1名は入会候補者)にて、約1時間JR奈良駅から猿沢池近くの観光客の多い地域にて、ゴミ収集活動を行いました。観光地でゴミも少なく美しく保たれていましたが、タバコのポイ捨てが目立ちました。デンマークから来日されたご家族からも声掛けがあり、YMCA、ワイズのアピールも行いました。次期も3ヶ月に1度の予定で奈良地区の街美化に協力して参ります。



④大阪クラブより 大阪クラブ主催中西部共催 フレイル予防とクリーン活動(2024年3月30日)

「桜満開の大川沿いでお花見しませんか!!!」を標題に実施した3月のフレイル活動でしたが、花冷えの期間が長く続き、残念ながら蕾膨らむまでもいっていませんでした。

今回は、西クラブの畠平特別メネット・湯浅ワイズ、センチアルクラブの石津中西部部長、茨木クラブ清水ワイズ、大阪クラブの北村ワイズ・牟ワイズそして植野の7人の参加で実施しました。

当日は、前日までの寒さと打って変わって暖かくお花見日和となりました。

今回のコースは、JR桜宮駅をスタートし、帝国ホテル・造幣局・天神橋・八軒屋浜船着き場で解散と、およそ4Kmの行程をクリーン活動しながら歩きました。

桜の開花にはほど遠かったのですが、沿道には賑やかに沢山の屋台が妍を競い、そこにお花見客がシートを敷いて宴会をされていました。外国の方も多くおられ、日本の花見を楽しんでいました。

私たちは、お花見客をよそ見に吸い殻や空き缶・空き瓶等を余念無く回収しました。

解散場所で集めたゴミを集約しますと大きな袋一杯になり、最近では余りなかった量でした。

解散後、京阪シティーモール8階のレストランでお花見ランチをして親交を温めました

<フレイル予防とクリーン活動について>

大阪クラブを主催として、他の中西部メンバーも参加しているこの活動について

「この運動は、地域奉仕と環境美化の社会貢献運動と位置づけ、参加者ご本人のフレイル予防と健康増進は勿論、広く地域へのYMCA、ワイズメンの認知度を高めることができる」とのことです。



⑤中西部より 中西部うなぎの森植樹祭(2024年5月12日)

実施場所: 高槻森林観光センター森林

大阪北摂地域の山の荒廃がさらに海の荒廃につながることから、山の環境を良くして台風や大雨に備え自然災害を減少させることを教わり、また更に SDGsの 14, 15 のゴールも目指す。今回は日本に学びに来るYMCA留学生と一緒に、意識の高揚を図るため牡蠣の養殖をされている気仙沼の畠山さん(元ワイズ)を招き植樹活動の意義と植樹を実施 学習しました。またYMCA水泳クラブの幼児、小学生も参加、大阪府木材連合会と共に地域活動も実施しました。

参加者数 YMCA: 留学生 25 名、YMCA 水泳クラブ生徒 12 名、小川大阪 YMCA 総主事、YMCA 職員 8 名、ワイズメン 15 名

YMCA 関係者含め植樹参加者約 200 名

連携した地域団体 NPO 法人大阪・うなぎの森植樹実行委員会 大阪府 高槻市 大阪府森林組合 大阪市漁業協同組合 ワイズメンズクラブ中西部 (公財)大阪みどりのトラスト協会 NPO 高槻森のプラットホーム (公財)大阪観光局など

また「森は海の恋人」を提唱し国連のフォレストヒーローズ受賞者で世界的に活躍されている畠山重篤氏が気仙沼より、また自然のつながりと人の心の再生を目指す「森里海連環学」の提唱者の京都大学名誉教授 田中克先生も参加されました

今回は YMCA と Y's と地域の方々の協働の楽しさも感じたとお声もいただきました。

参加された大阪 YMCA の国際専門学校の方からすてきな感想が谷ワイズに届いていますので、紹介します。

大阪西クラブ

谷正一さま

こんにちは。大阪 YMCA 国際専門学校 土佐堀カレッジの辻本です。

先日の活動に参加させていただいた学生7名のコメントです。

① 高槻森林観光センターで「うなぎの森植樹」という名の植樹祭に参加する機会を与えてくださった皆さまに感謝いたします。破壊された森林を再生することは人類にとって大切な仕事です。なぜなら、環境と自然を大切にすることで、大気中に新鮮で明るい酸素が生まれるからです。さらに、木は鳥や他の動物など、世界中の生き物に大きな価値観のある自然の豊かさを提供します。日本独特の植樹の仕方も理解できました。会話も弾み、集合写真も撮りながら、非常に美味しい昼ご飯の料理を食べました。この経験は環境と生態学の観点から、私にとって非常に大切です。この経験から学んだ知識を今後、ラオスでさらに発展させていきたいと思います。満身に満ちた1日で環境知識を学ぶことができるとても幸せです。私たちが植えた木が大きく育って、100年も生きる長寿の木になりますように。最後に、私達に親切にしてくださった皆様に感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。<ラオス出身>

② 今回の活動に参加させていただき、ありがとうございました。初めて「うなぎの森」に参加するとことはいい経験になりました。先生や友達とさくらの木を植え、昼ご飯の焼肉を食べ、写真も撮り、いい事づくめです。さらに、新しい人と知り合いもできました。機会があれば、是非もう一度参加したいです。<カンボジア出身>

③ このような楽しい活動に参加したのは初めてです。留学の一つの良い思い出です。来年も機会があれば、ぜひ参加したいと思いました。<ベトナム出身>

④ 今回の活動に参加して良かったと思います。植樹は初めてなので、みんなと一緒にできたのはいい経験だし、いい思い出になりました。10年後、20年後にまたこの場所を訪れて、あの木々がどれだけ大きくなったかを見たいと思います(もし日本にいれば)。どの木を植えたかはたぶん覚えていないだろうけど、かつてたくさんの良い人たちと一緒にこのようなことをしたことはずっと覚えています。<カンボジア出身>

⑤ 植樹したのが楽しかったです。ベトナムでこのような活動は参加したことがありますが、日本では初めて参加しました。みんなと一緒に木を植え、焼肉もいただきました。来年、機会があれば、また参加したいと思います。どうもありがとうございました。<ベトナム出身>

⑥ I wanted to extend my heartfelt thanks for inviting me to Unagi no Mori event. It was a wonderful experience to contribute to such a meaningful cause and to spend time in nature with like-minded individuals. I have always loved nature and trees, but hearing your insights with Unagi has given me a new-found appreciation for trees, and my love for nature has only deepened within my heart. Getting to plant trees for such a great cause was truly a unique and fun event, and is sure to become a memory I cherish. Your dedication to environmental conservation is truly inspiring, and I'm grateful for the opportunity to be a part of it. Planting trees not only helps the Unagi, and their environment but also fosters a sense of community and shared purpose. I'm proud to have participated and look forward to future events. I hope I would be honored enough to join you on any future events. Thank you once again for including me in this important initiative. Thank you from the bottom of my heart. <ラオス出身>

⑦ この度は、栄養豊かな川にするための植樹用の苗に加えて、焼肉までごちそうしてくださり、ありがとうございました。今回の経験で木と川と海が繋がっていることを知ることができました。今後も山ざくらや紅葉が100年続くように、またこの活動も続きますように願っています。<日本>

<うなぎの森とは>

大阪府木材連合会のHPによると、大阪府木材連合会は大阪府、高槻市、大阪府森林組合の支援の下、有志の方によるうなぎの森づくりを実施しています、

<うなぎの森の名前について>

うなぎの森の名称は、ご存じの方も多いと思いますが、うなぎの森実行委員会の HP によると早急に手入れの必要な淀川水域の北摂の森林を整備して、山の栄養分が淀川に流れてきて絶滅危惧種の淀川うなぎが戻ってこれるように、市民、関係団体、行政と連携し、うなぎの森づくりを行うとなっています。

なお、中西部地域奉仕環境事業主査の谷正一さんは、長年の木材事業や木材組合の活動への功績により黄綬褒章を受章され、2024年5月19日には受賞パーティがワイズ有志により西宮のヨットハーバーにて開催されました。おめでとうございます。



写真は参加者のうちワイズ、YMCA 関係者



大漁旗・ワイズ

⑥大阪なかのしまクラブ 今期のミャンマー支援

大阪なかのしまクラブは、27年前のチャーター時からミャンマーを地域奉仕環境事業の対象としてきましたが、今期私たちは、小森康三さん、仁美さんご夫妻のミャンマー支援に少しだけ関わらせて頂く形で、事業を行いました。

その一つはミャンマーコーヒーの購入、販売です。小森さんご夫妻がミャンマー、シヤン州からコーヒー豆を取り寄せ、焙煎されたものを、私たちが買取り販売しています。2種類の焙煎のもの、豆と粉、いずれも500円/100gのものを買取り、それに送料費用を上乗せし、550円で販売しています。小森さんによると、500円の内、原料代、焙煎その他の手間代等を差し引いて、そのほぼ40%がミャンマー支援に回るとのことです。今は軍事クーデター後にたくさん出ている国内難民の支援に使って下さっているとのこと。

また康三さんがミャンマーへ行かれるのに合わせ、「ミャンマーの方々のために」と、10万円/年をお渡ししています。2月に行かれた時は、「カヤー州から避難して来ている難民の方たち7家族の3ヶ月分の食事サポートに用いられる」とこととなったと、その時の写真も送って頂きました。

⑦神戸ポートクラブ 揚がれ希望の凧(2024年3月9日)

東日本大震災から13年経ちましたが、津波・原発事故の犠牲者、被災者を私たちは決して忘れません。

被災地の人々と心をつ結び、復興を願う私たちの気持ちを表すために、凧揚げ大会が行われました。

※2012年(東日本大震災の翌年から)から続けています。

⑧神戸ポートクラブ DBC 輪島で炊き出し(ボランティア作業含む)(2024年5月2日、3日)

ワイズメンズクラブ国際協会 DBC3クラブ(石巻広域・東京むかで・神戸ポート)

あの日から4か月経ちました。まだまだ復興途上の方々に思いを届けたいと願っています。

やっと、私たちの出番がきました。

ワイズの力を、少しでも役立てていただきたく、下記のように計画しました。

(1) 日程

- 5月1日(水) 朝早く、それぞれの地を出発。輪島市内を經由して、東陽中学校避難所へ。
- 5月2日(木) 午前11時～午後3時頃、もちつき4臼&ワイワイ喫茶 東陽中学校避難所へ
- 5月3日(金) 午前11時～午後3時頃 もちつき4臼&ワイワイ喫茶 輪島市第1町野住宅
- 5月4日(土) それぞれの地に帰る。

(2) 参加者 12名

石巻広域クラブ:5名、神戸ポートクラブ:5名、東京むかでクラブ:2名

(3) 現地での活動

炊き出し隊はもちつき。(餅つき(あんこ、きなこ、砂糖醤油、みたらし)、ワイワイ喫茶(飲み物とお菓子)
別動隊は、現地で要請される作業(避難所運営、支援物資配布、衛生管理等)

5月2日

金沢クラブから2名、とやまクラブから1名の応援あり。

もちを食べ、コーヒーを喫しながら、お話しを聞くこともできました。いい匂い、ドリップコーヒーなんて長く飲めなかった。正月はもちを食べられなかったなあ、という言葉に、あの日の思いが伝わってきました。もちは4臼で360個。1人3個ずつ、100人以上の方に召し上がっていただきました。

5月3日

前日と同じ内容でしたが、祝日で、また仮設住宅ということでより多くの方来てくれました。もちつきは、被災者の方も支援者の方と一緒にできるところによさがあると思いました。90歳の方が、杵を振りおろしながら、生きてまたもちつきができてよかった、としみじみと語っていました。

(4) 今回の経緯

2021年6月のDBC締結式以前から、そして以降も3.11追悼行事では神戸ポートクラブのメンバーが石巻を訪問、4月の神戸ポートクラブ主催チャリティコンサートには石巻広域クラブメンバーが来神して一緒に運営するなど、数々のDBC交流を重ねてきました。今年3.11追悼行事前日の交流会にて能登半島地震被災地支援についてディスカッションをできるだけ皆で行きたいという想いを確認し、今回に至りました。従来からの東京むかでクラブとの年2回交流(東京YMCA野尻キャンプでの特別例会、神戸ポートクラブクリスマス例会)に加えて、今回はトライアングルDBC3クラブでの協働事業が成就できました。被災経験のある、また被災地支援をしながらの交流ができた事は、参加者みなが充実した実感と貴重な経験を得られた機会になりました。



⑨ 広島クラブ WEEK 4 WASTE 環境美化ウォーク(2024年5月18日)

CS事業活動『Week 4 Waste 環境美化ウォーク』を実施しましたので、報告します。

2020年にワイズメンズクラブ国際協会より環境美化運動「Week4Waste」が提唱されて5年目(2022年はコロナ感染禍で中断しておりました)の今年は、広島クラブのメン8名、メネット2名、広島YMCAビジネス専門学校留学生13名、広島YMCA職員5名の計28名が参加して、5月18日午前10時～11時30分、広島YMCAのある八丁堀地域で清掃活動を行いました。

昨年5月19日から開催された【G7広島サミット】以降、広島の街中は一段と国内外からの観光客が多数見受けられる日常となっています。広島市が昨年のサミット前に実施した「街中清掃ボランティア活動」の推進の効果もあってか、今回の清掃活動では、広島YMCA界隈のオフィスビルや飲食街に隣接のコインパーク内のタバコの吸い殻、ペットボトル、空き缶、ポリ容器等のゴミは、昨年より減った感がありました。しかしなが

ら歩道と車道際の排水路に雑草が伸びている箇所があり、今回は雑草除去作業に努めました。4班に分かれたグループは、作業をしながら留学生の方々と微笑ましく会話している姿が多く見受けられ、『Week 4 Waste 環境美化ウォーク』が、国際交流にも効果をもたらしてくれた実感を得ました。

記念撮影後、留学生の皆さんには、メネット会長よりチョコレートのお土産が渡されていました。



⑨熊本ジェーンズクラブ（留学生との交流事業・新年度茶話会 2024年5月10日）

実施場所熊本YMCA本館401・402教室

参加者：留学生16人、ジェーンズクラブ8人、YMCA学院スタッフ：2人

昨年からの在校生に加え4月入学の新生を迎えて、留学生との交流と日本語を話す機会を持つための茶話会を開催したものの。

【実施概況】

ジェーンズクラブは、昨年末に開催した交流茶話会を手始めに、様々な機会を捉えて留学生との交流を進めて日本語が話せる場面づくりに取り組んでいます。熊本YMCA日本語科も新年度となり、約1か月が経過して学生生活も落ち着いたこの時期に、今期2回目の交流茶話会を開催しました。

今回の参加留学生は16人、出身国籍は中国、台湾、カメルーン、フィリピン、ネパール、ベトナム、そしてウクライナからと7か国に亘ります。

今回の茶話会でも留学生の日々の生活の様子を中心に、日常生活での楽しみや困りごと、日本での気付きやこれからの進路のことなど、勉強中の日本語で聴かせてもらいました。

多くの国からの留学生と交流が出来て、メンバーも多様な文化や価値観が感じられたと思います。この4月から熊本YMCAの各センターは「グローバルコミュニティセンター」に名称変更されており、その名に相応しく多文化共生が育まれる拠点として、今後もサポートに努めます。



2. 【広報関連】

国際会長ニュース4月号に、WEEK 4 WASTEとして八代クラブと奈良クラブのクリーン活動の写真が掲載されています。

また、中西部のウナギの森がワイズメンズクラブの国際の環境事業関連のFacebookに掲載されました。

なお、うなぎのもり植樹祭は、WEB検索されると、一般社団法人大阪府木材連合会に写真が掲載されています。今年度は第11回 2024年5月12日実施です。（ワイズメンズクラブは9回目です。）

3. 【CS、FF 資金の支援金使用実績】

皆様からいただいている CS 資金、FF 資金の使用状況をご報告します。

2023－2024 年度の支援金の使用は以下の通りです(2024 年 5 月 25 日現在まで。震災支援金を含む)

CS 資金から

支出先	内容	金額
NDERF 献金		377,306 円
広島	ホノルル発子どもミュージカル「平和は翼に乗って」	90,000 円
京都部	京都部ワイズデー	350,000 円
近江八幡	近江八幡市民クリスマス	150,000 円
名古屋グランパス	名古屋クリスマスキャロル	100,000 円
日本 YMCA 同盟	能登半島震災復興支援金	1,000,000 円
石川県	能登半島震災復興支援金	1,000,000 円
びわこ部	CS シンポジウム(クリーン活動と公開講演会「ワイズ活動こそ SDGs」)	87,000 円
奈良	公開講演会「命と愛 子供は未来の宝物」	150,000 円
熊本ジェーンズ	クリーン活動をお花見例会	70,000 円
SDGsユースアクション	西日本区分担分	570,000 円
台湾区へ	台湾東部沖地震災害見舞金< 5 月送金>	510,632 円

FF 資金から

京都グローバル	グローバルサッカーアカデミー	200,000 円
滋賀蒲生野	むさっこクリスマス	50,000 円
米子	病院に子供文庫の本箱寄贈	51,000 円

2024 年 4 月におきた台湾東部沖地震に対しては、2024 年 5 月に災害見舞金として、西日本区事務所から、20 万台湾ドル相当を米ドルで換算して 6077 米ドル(5 月 13 日の為替レートで 953,967 円)を台湾区へ送金しました。この内、災害支援金として預かり金が 443,335 円ありましたので、残りを CS 資金から 510,632 円を支出しています。

台湾区からは、献金の受取書と被災地の救援活動に使用しますとのお礼状(※)を西日本区事務所にお送りいただいています。

(※) <台湾区からのお礼状の文面>

Here we would like to inform you that Donation from Japan West Region had into our regional bank account.

Attached please find the receipt and check if it fits.

We will combine with your donations to carry out relief work in disaster areas, and then will report to you.

Thank you very much, and please express our gratitude to all members in Japan West Region on our behalf.

Best Wishes,
Taiwan Regional Office Assistant

4. 【SDGsユースアクション 2024 について】

SDGsユースアクション 2024 は、応募チームによる企画プレゼンテーション(WEB)が 2024 年 3 月 17 日に実施されました。選ばれたチームの活動期間は 2024 年 5 月～12 月の 8 か月間の予定です。10 チームが選ばれ(西日本区 HP にも記載)、うち西日本区からは 3 チームが選抜されました。

企画名	チーム名、所属等
落書き消去運動	YMCA せとうちリーダー会
Youth Peace Seminar	広島 YMCA 国際ユースリーダー
ぷらっと Canp	熊本 YMCA ぷらっとほーむリーダー会

YMCA,ユースリーダーと地元のワイズメンズクラブ各クラブとの連携が期待されますので、岡山地区、広島地区、熊本地区のワイズメンの皆様、サポートよろしくお願いします。

また、支援金は CS 資金から、 $190 \text{万円}(\times 1) \times 40\%(\times 2) \times 75\%(\times 3) = 57 \text{万円}$ が支出されます。

(※1)10 チームで各チーム最大 20 万円までで、今回は $10 \text{万円} \times 1 \text{チーム} + 20 \text{万円} \times 1 \text{チーム} = 190 \text{万円}$

(※2)YMCA20% ,東日本区 40%、西日本区 40%

(※3)Y サ資金 25%、CS 資金 75%

それぞれのプロジェクトの内容は以下のとおりです。

落書き消去運動 YMCA せとうちリーダー会
<ul style="list-style-type: none"> ・推薦団体 YMCA せとうち ・(具体的な活動内容)落書きを消去することで、町並みを改善する。

Youth Peace Seminar 広島 YMCA 国際ユースリーダー
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)広島ワイズメンズクラブ ・(具体的な活動内容)ユースピースセミナー2024 グループワークや異文化交流なども ・(活動の目的・ゴール)・世界から争いと暴力をなくす。・世界中に活動の輪を広げる。・ピースセミナーの参加者がセーフティネットを持つ(価値観を共有し、互いに認め合い、尊重しあうことで、新たな関係性を創る)

ぷらっと Canp 熊本 YMCA ぷらっとほーむリーダー会
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)八代ワイズメンズクラブ、熊本 YMCA ・(具体的な活動)居場所を見つけることが困難な子ども達が、月 1 回の野外活動を通して、居場所を見つける。 ・(活動の目的・ゴール)自己肯定感(自分でいいんだという心を取り戻す)、自己効力感(成功体験の積み重ねで「自分ならできる」という心を育む)

このほか、東日本区からは 7 つのプロジェクトが選ばれています。

スポーツを通じた地域住民と在日外国人との交流 (チーム)国際ボランティアサークルひつじぐも
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)八王子ワイズメンズクラブ ・(具体的な活動内容)在日外国人との共生を目指した政策をおこなっている埼玉県川口市を中心にスポーツ大会と、日本語教室を実施予定
外国ルーツの子どもたち(多文化キッズ)の体験活動 (チーム)みっくす
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)東京 YMCA ・(具体的な活動)工場見学、初詣、富士山見学、祭りに参加ほか (ゴール)同じ背景を持った多文化キッズが集まって仲間と一緒に体験の場をもち、生きた日本語を学び、自分のアイデンティティを発見できる活動、日本の文化を学べる機会にしたい。
グッズドライブ (チーム)札幌 YMCA ユースボランティアリーダー会
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)札幌ワイズメンズクラブ、北海道 YMCA ・(具体的な活動内容)1 年出来られなくなる子供服を物々交換によりリユースする。 (ゴール)物々交換や寄附で集まった衣類の一部を、子ども食堂などを通して貧困家庭へ届ける活

動につなげていきたい。	
小さなアトリエ (チーム)YMCA 川越クローバークラブ	
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)埼玉 YMCA ・(具体的な活動)夏休み期間に、川越市内で、夏休み宿題サポートや、工作や絵画の制作の場の提供、創作活動のサポートなど 	
留学生もみんなと共に～能登半島地震災害復興ボランティアワークキャンプ Youth for Note	
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)松本ワイズメンズクラブ ・(具体的な活動内容) 留学生だけでなく、日本人学生や市民の方にもよびかけ、学生の夏休みに能登半島地震復興支援ボランティアを行う。 	
子どもの人権プロジェクト (チーム)盛岡 YMCA 子どもの人権チーム	
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)もりおかワイズメンズクラブ 盛岡 YMCA ・(具体的な活動)すでに第2期までに作成した人権かるたを用いてワークショップを行う など。 	
ユースが発見！みんなでつくるよりどころ (チーム)山梨 YMCA リーダー会	
<ul style="list-style-type: none"> ・(推薦団体)甲府21クラブ、山梨 YMCA ・(具体的な活動)体験格差の解決(ものづくり、野外料理他)、リーダー自身の学び、発信ほか 	

5. 【TOFを利用したプロジェクトの実施状況について】

TOFについては、世界のYMCAが申請し、国際が認めたプロジェクトについてTOFの資金を利用することが認められます。(最近はSDGsに関連するものに限定) たとえば 2023-2024 認められたプロジェクトは10プロジェクトあります。

この資金を使用したプロジェクトの実施状況については、2023-2024 認められたプロジェクトのうち2件のプロジェクト(①「カメルーンへの適応のための環境修復」と⑥「インド農業学校」)の実施状況がYMI2023-2024 第2号に記載されていますので、もうご覧になった方も多いと思いますが、紹介します(写真は西日本区 HP の理事通信のページにある YMI2023-2024 第2号をご覧ください)

TOF ストーリー

①適応のための環境修復(ERAP) カメルーン、バメンダでのプロジェクト

カメルーン北西区の住民は、有害な伝統的焼畑農法、広範な森林開発、外国企業や国内企業による採掘事業などに起因する、急速な土地の劣化と気候変動の問題に取り組んでいます。森林伐採と採掘を目的とした河川の流れの変化は、不規則な降雨、強烈な日差しや強風など悪条件の過酷な気象条件をもたらしました。このような状況は、物的損害や農業生産性への大きな影響を招き、住民を飢餓や栄養失調、汚染された水源による感染症などの危険にさらしています。残念なことに、地元の人々の多くは、自分たちの持続不可能な慣習を認識するよりも、これらの悪影響を天罰だと考えています。

2023年8月16日、YMIは、適応のための環境修復(ERAP)のためのファンドとしてTOF支援金の分割払いの第1回をプロジェクト・コーディネーターの要請に応じ、払い込みました。9月13日、YMIは第1回目の報告書を受け取り、すべての関係者が非常に協力的であったことが報告されました。この報告書では、300人の受益者が特定され、修復と保存に関する初期研修が実施されたことが概説されています。資金は、苗木と植え付け用具の初期購入に適切に活用され、プロジェクトの将来的な成功に向け明るい兆しが見えてきました。

②YMCA 農業学校(YAS)(インド・オリッサ州カタック市)

このプロジェクトの目的は、以下のとおりです。

- ・約200人の若手農民を対象に、集中的な座学と実地研修を行う。(1クラス5-20人/月)
- ・代替農法を導入し、家庭の収入を増やす。
- ・土地を持たない農民や季節農民の移住を抑制する。
- ・安定した生活の向上のための代替収入源を求める、小作人・季節的農業を営む農民のための協同組合を設立する。

2023年8月26日、インド・オディシャ州・カタックのバガットプールでYMCA農業学校(YAS)の開校式が行われました。このプロジェクトはインドYMCAがカタックワイズメンズクラブと共同で運営しています。この開校式にはW・H・C・デイビッド、北区、東区、北東区理事、カタッククラブのメンバー、インドYMCAバガットプールプロジェクトの委員長や委員会メンバーが出席しました。

開校式は、トレーニングセンターを始動し、プロジェクトの 目的を固め、予算に関する事項を明確にする機会となりました

6. 【参考:事業通信掲載の当期実施事業、及びその他主な事項】

当期、多くの事業報告書をいただきありがとうございます。以下の事業通信各号に掲載しております。(6月1日号まで)。

名古屋	①愛美の会クリスマス(2月号)、②ミカン狩り(3月号)
名古屋東海	クリスマスカードコンテスト(2月号)
名古屋グランパス	クリスマスキャロル(2月号)
近江八幡	近江八幡市民クリスマス(2月号)
滋賀蒲生野	①きぬがさ作業所祭り(12月号)、②子ども食堂むさっこクリスマス(2月号)
びわこ部	CS シンポジウム with WEEK4WASTE<清掃活動>(4月号)
京都パレス	①和敬学園地藏盆(11月号)、②京都カグヤライズ公式戦観戦体験(3月号)
京都キャピタル	①RBM 献金、②京都部ワイズデー、③ふれあい広場、④TOF 例会(5月号)
京都ウエスト	①平安徳義会養護園 夏祭り、②京都部ワイズデー、③みやこふれあい祭り、④成人式サポート(平安徳義会養護園)(3月号)
京都プリンス	①第6回ののさん応援チャリティーゴルフコンペ(2月号) ②CS 環境アワー(4月号)
京都ウイング	①リ・ブラン京都中京 カトリック衣笠教会バザー支援・サポート、②京都部ワイズデー、③社会福祉法人成望館支援事業(1月号)、④リ・ブラン京都マリアの会のクリスマス会(2月号) ⑤京都部 CSチャリティーボウリング(4月号)⑥成望館イベント参加(4月号)⑦全国車いす駅伝競走大会介助サポート(4月号)
京都グローバル	①第1回京都グローバルサッカーアカデミー(1月号) ②修光学園クリーン DAY、③修光学園へじゃがいも寄贈、④年賀状宛名シール作成、⑤京都部ワイズデー、⑥修光学園陶芸教室。⑦京都ウエルクラブチャリティーゴルフ、⑧CS チャリティー食事会、⑨TOF&サッカーアカデミー報告例会 ⑩京都部チャリティーボウリング大会(5月号)
京都 トップス	①ぐんぐんハウスじゃがいも等寄贈、②京都聖嬰会じゃがいも等寄贈、③京都部ワイズデー、④聖嬰会祭り、⑤聖嬰会卒業生テーブルマナー食事会(1月号) ⑥ぐんぐん手作り市(4月号) ⑦動物園エサ代サポート献金、⑧TOF 例会、⑨能登半島地震緊急募金 ⑩チャリティー・ボウリング大会、⑪ぐんぐんハウス 30周年記念寄贈 ⑫京都市動物園バックヤードツアー、⑬CS・TOF・FF・RBM 献金(5月号)
京都 トゥービー	①ひまわり園フェスのサポート(12月号) ②京都府立医大クリスマスプレゼント(4月号)
京都東稜	祇園祭り清掃活動(8月号)
京都ウエル	①祇園祭りクリーン活動(10月号)、②③京都動物愛護センター花壇整備事業(10月号、11月号)、④社会福祉法人大阪水上隣保館児童養護施設 遙学園ジャガイモ等寄贈、⑤京都部ワイズデー、⑥第8回 CS 動物愛護チャリティーゴルフ大会(3月号) ⑦洛西寮祭り支援(4月号) ⑧※YサでSDGs事業『青い空と白い雲のキャンプ』(4月号)(※ブリテンより) ⑨CS アワー・TOF 例会 ⑩京都部チャリティーボウリング(5月号) ⑪遙学園桜バザー支援、⑫京都動物愛護センター花壇整備事業(6月号)
京都 ZERO	①春日野園こども園夏祭りサポート(8月号)、②地藏盆祭り(10月号)、③立位稲荷環境整備(玉垣リニューアル)、④日向大神宮環境整備ワーク、⑤京都部ワイズデー、⑥松茸山再生事業調査(3月号) ⑦京都部チャリティー・ボウリング(4月号)
阪和部	阪和部会講演「バスが来ましたよ～あたたかな小さな手のリレー(10月号)
奈良	①②フードバンク (10号、3月号) ③WEEK 4 WASTE(10月号)

	④公開講演会「命と愛 子供は未来の宝物」(4月号) ⑤WEEK 4 WASTE(6月号)
和歌山紀の川	和歌山刑務所矯正展へ模擬店を出店(11月号)
大阪	WEEK 4 WASTE とフレイル予防(12月号)
大阪なかのしま	ミャンマー支援(6月号)
中西部	ウナギの森(6月号)
神戸ポート	①クリスマス会(2月号) ②揚がれ希望のたこ、③DBC 輪島で炊き出し(6月号)
宝塚	①「すべての人の作品展プラス」(12月号)、②みんなでつくる One Christmas (2月号)、③擬似体験学習会のオープン例会とキラリと輝くアート展(3月号)
姫路グローバル	楽しさいっぱいデイキャンプ(10月号)
米子	①ひとり親家庭支援相談会(12月号)、②ワイズ文庫贈呈事業(3月号)
広島	①ホノルル発子どもによるミュージカル「平和は翼に乗って～佐々木禎子の生涯」(12月号)、②クリスマスリース贈呈(1月号)③WEEK 4 WASTE 環境美化ウオーク(6月号)
東広島	①クリスマスリース寄贈(2月号) ②ウォーターセーフティハンドブックを東広島市の全小学校1年生に無償配付、③クリーン大作戦、④大人のためのパードウオッチング冬鳥観察会(3月号)
熊本ジェーンズ	①留学生支援茶話会(2月号)、②クリーン活動とお花見(5月号) ③留学生との交流新年度茶話会(6月号)
八代	①～⑨SDGsクリーンナップ八代(①10月号)(②～⑧5月号)
鹿児島	①谷山ヘリポート清掃事業(1月号)、②おにぎりの会(5月号)
熊本ひがし	あか牛祭り(3月号)

その他の記載事項

項目	掲載号	
各クラブ CS アンケート結果	2023年7月号	2023年4月実施アンケートの集計
過去10年分のCS・FF資金の使途	2023年9月号	
2023-2024承認TOFプロジェクト	2023年10月号	
SDGsユースアクション募集とSDGsユースアクション2022について	2023年12月号	
SDGsユースアクション2024について	2024年5月号 2024年6月号	5月号 支援金額 6月号 プロジェクトの具体的内容
当年度CS・FF資金での支援実施状況	2024年1月号～	1月号、2月号、3月号、4月号、5月号、6月号
強調月間 TOFについて	2024年2月号	
強調月間 FFについて	2024年2月号	
強調月間 CSについて	2024年3月号	
強調月間 RBMについて	2024年4月号	田上直前理事より
TOFを利用した事業の報告について	2024年6月号	YMI2023-2024の第2号より抜粋